

開催レポート

日時：令和6年（2024年）1月24日（水）13:00～16:30

場所：釧路市観光国際交流センター

●じもと×しごと発見フェアとは

若年者が就職活動を始める前や就職先を検討する時に、地域の仕事や企業等を広く知るために開催する企業展示会です。若年者の地元就職を促進するとともに、早期離職の防止を図ります。

令和5年（2023年）度 実績

参加事業者数 25社

参加生徒数 215人

（1年生5人、2年生208人、定時制3年生2人）

●開催当日の状況

本フェアは求人内容を説明する合同企業説明会とは違い、【仕事内容】を紹介する場です。

企業等が扱っている製品や写真等の展示を見たり、業務の実演や体験などを交えた説明を聞くことで、地元企業にさらに興味を持った生徒も多かったです。



建設関係のブースでは、VRやドローンなどを使用し、建設作業の体験してもらいました。

自動車関係のブースでは、実際の車を用いて、車内装備の使い方や、タイヤ交換などを体験してもらいました。



公務関係のブースでは、実際の仕事道具の展示があり、生徒には隊服の試着などを体験してもらいました。

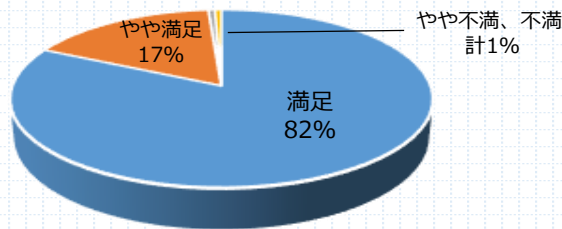
福祉関係のブースでは、職員による業務説明があり、生徒にはプレゼント付きクイズなどを体験してもらいました。



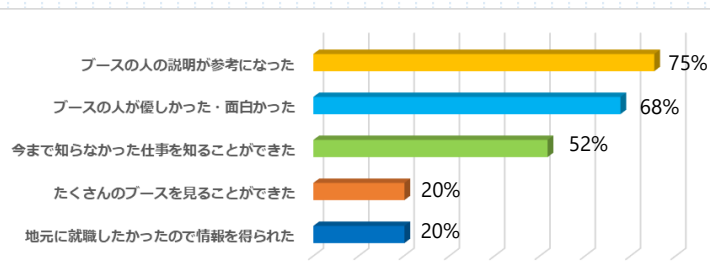
●参加生徒アンケート結果（n=174）

参加生徒アンケートによると、99%の生徒が本フェアについて満足、やや満足と回答しており、そのうち評価の高かった内容としては「ブースでの説明」75%、「ブースの企業担当者が優しかった・面白かった」68%、「知らなかった仕事を知ることができた」52%が上位でした。

(1) 本フェアの全体の満足度について教えてください。



(2) 「満足」「やや満足」と回答した方は、本フェアの良かった点について教えてください。（複数回答）



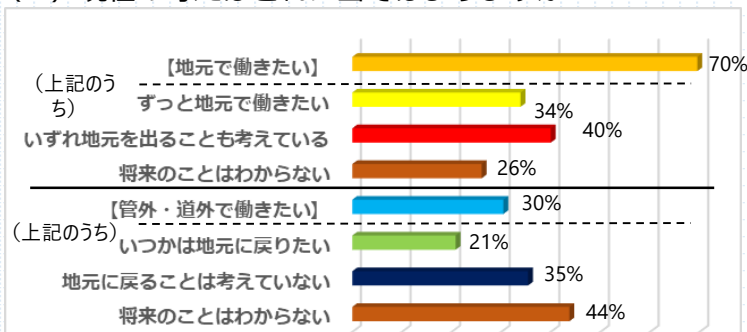
(3) 「やや不満」「不満」と回答した方は、本フェアの悪かった点について教えてください。（複数回答）

「やや不満」「不満」と回答した方は、「ブースの人の説明が参考にならなかった」「知りたい企業の出展がなかった」「ブースの訪問回数が少ない」という評価でした。

参加生徒のうち、**地元で働きたい**と回答した生徒は**70%**で、**管外・道外で働きたい**と回答した生徒は**30%**でした。

管外・道外で働きたいと回答した生徒のうち、いつかは**地元に戻りたい**と回答した生徒は**21%**、**地元に戻ることは考えていない**と回答した生徒は**35%**、**将来のことはわからない**と回答した生徒は**44%**でした。

(4) 現在の考えはどれに当てはまりますか？



●参加生徒アンケート結果 (続き)

参加生徒が仕事・職場を選択するときに優先する内容として、回答の割合が高い順では、「**会社の雰囲気**」32%、「**仕事の内容**」24%、「**休みのとりやすさ**」17%、「**働く場所**」15%、「**お給料**」11%でした。

また、その他として「**制服**」という意見もありました。

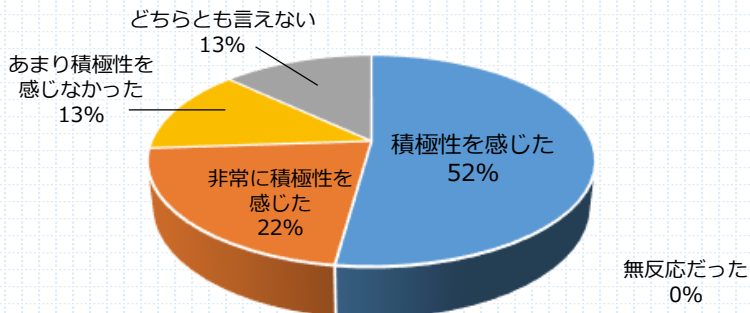
(5) 仕事・職場を選ぶとき、優先する内容について教えてください。



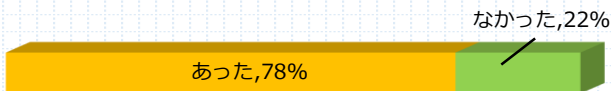
●出展者アンケート結果 (n=23)

出展者アンケートによると、参加生徒の印象について、「**積極性を感じた**」52%、「**非常に積極性を感じた**」22%、「**あまり積極性を感じなかった**」「**どちらとも言えない**」13%でした。また、参加生徒からの質問や反応が「**あった**」と答えた出展者は78%、「**なかった**」と答えた出展者は22%でした。

(1) 本日のブース訪問者の印象はいかがでしたか。



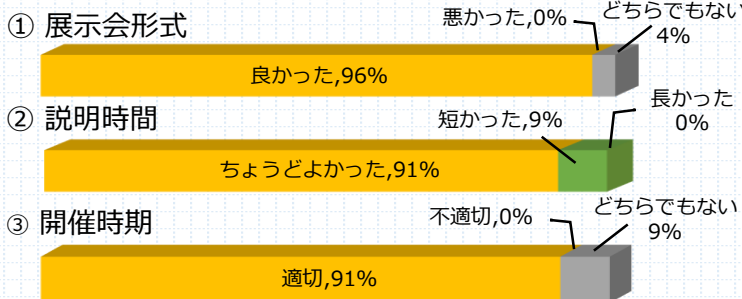
(2) 本日のブース訪問者から質問や反応はありましたか。



展示会形式での運営、開催時期については、良かった・適切

との評価が多く、説明時間については、「ちょうどよかった」との評価が多数を占める中、少し短いという評価が少数ありました。

(3) 本日の運営について伺います。



●参加生徒、出展者の意見

○参加生徒

- ・指定訪問のおかげで新しい仕事に出会えた。
- ・話を聞くだけでなく、体験することができて、良い経験になった。
- ・興味の有無関係なく、どこのブースも楽しく体験できた。
- ・民間企業の説明も知らないことばかりで面白く、視野が広がった。
- ・様々な職業を知れて、将来の進路の幅が広がった。

○出展者

- ・まだ志望する業種のイメージを持っていない生徒に宣伝できたことはありがたい。
- ・初めて出展したが、次回もお声がけいただきたい。
- ・生徒とのコミュニケーションがよく取れた。
- ・昨年よりも人数が多かったためか、賑わっている印象だった。

●総括、今後に向けての課題

○総括

今年度は令和元年度以来初めて、新型コロナ感染症対策を行わない平常開催となり、参加事業者数は釧路管内で独自に開催するようになってから、**過去最多を更新**しました。また、参加生徒数においても昨年度より**63名増加**しました。

フェアの運営についても、概ね適切との評価を得られましたが、中には、「会場が広いため、生徒や企業の声が聞こえにくい」との意見もありました。

訪問先を指定する「指定訪問」については、地域の仕事や企業等を広く知ってもらおうという本事業の狙いどおり、多くの生徒から「今まで知らなかった仕事を知ることができた」という評価を得られました。

生徒アンケートの結果では、「地元で働きたい」という地元志向の生徒が70%である反面、「管外・道外で働きたい」と回答した生徒が30%いることから、管外・道外で働く意識を持った生徒も一定数いることがわかりました。

また、生徒が就職先を決める内容として「お給料」よりも「会社の雰囲気」や「仕事の内容」を重視することがわかりました。

○今後に向けての課題

生徒アンケートの結果で、地元転出を考える生徒や将来への不透明性を抱く生徒が一定数いることから、地元で働き続ける姿がイメージできるよう、引き続き、管内企業の魅力や情報を広く発信し、地元への就職促進や早期離職の防止を図ることが重要です。

出展事業者、参加生徒から「説明者の声が聞こえづらい」「生徒の声が聞こえづらい」といった意見もあることから、ブースの間隔の拡大や音響設備の確保などについて検討する必要があります。

出展企業の産業分野の偏りを指摘する意見もあったことから、本フェアの趣旨や事業効果などを明確にし、出展企業や参加高校生にも、その趣旨や効果を理解していただけるよう努力することが必要です。